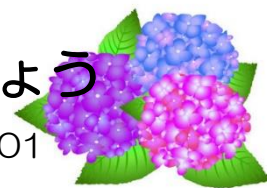


環境をよりよいものにかえてみましょう

2023.06.01



4月のおたよりの裏で、保育園に入園することで「環境」が変わることについてお話しました。今回は、日々成長しているお子さんの「環境」について考えてみましょう。

4月に入園してから2ヶ月が過ぎました。その間お子さんが病気になったりしてなかなかお仕事が出来なかつたりもしたでしょうが、お子さんは確実に成長しています。

当園では家庭訪問をさせてもらっています。日頃はなかなか時間が取れないお子さんについてやお家での様子を知るためにです。まだ行けていないお家もありますが、そこで感じたことがお子さんのお家での今の「環境」が今のお子さんに合っているだろうか、ということです。

5月のGW以降、這う、高這い、伝え歩きからの歩行など**大きい動き**や道具や物を持ったりつまんだり、机に座っての指先のお仕事などの**小さい動き**を集中して行えるようになってきました。クラスも落ち着いてきています。

日常でも排泄時にオマルに座れるようになったり排泄できたり、食事では手が出せなかった子が手つかみで食べれるようになったり、お部屋の中で自分だけでなく他児の存在を知ったり、保護者以外の存在（保育士）とその関わりを知ったりと、これが保育園でのクラスの現状です。

上記の現状を理解したうえでお家でのお子さんの「環境」は大丈夫かをお仕事で忙しいとは思いますがご家族で考えてみられたらいかがでしょうか。

お子さんが這う所は危ないものがありますか？ お子さんが手を伸ばして届くところに物を置いていませんか？ 思っているよりもお子さんの手は届きますよ？ お家にあるおもちゃ、遊んでますか？ 月齢にあっていますか？ 排泄の準備はできていますか？ 保育園ではその都度誘っていますよ。



お子さんがお家で歩いて倒れた時にケガをしないように家具の配置などに気をつけていますか？

どうしたら良いかわからない時は気軽に保育士に聞いてください。ささいなことかも、いえ、どんどん聞いてください、お子さんの「より良い環境」のために。